

～歌を詠み愛した眼科医～

入館無料

協力：神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター



歌碑(観音寺・福崎町西治)

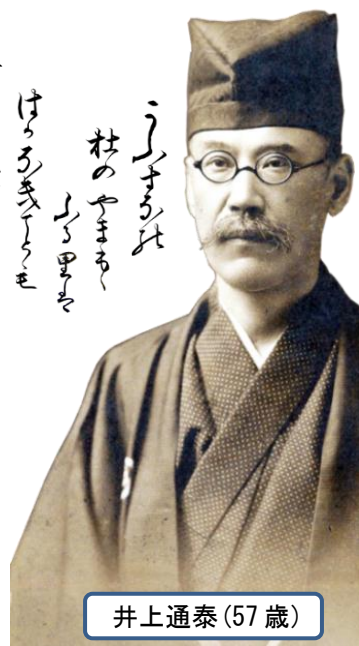


1. 藥箱



2. 南天莊扁額

※1、2は姫路文学館蔵

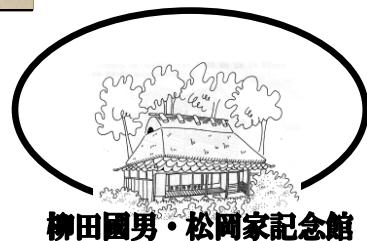


井上通泰 (57 歳)

記念館新聞



電話：0790-22-1000



無 料



その5

井上通泰生誕150年

者)らを鷗外に紹介し、鷗外は彼らとともに新声社をつくりました。そして、訳詩集『於母影』や『志がらみ草紙』を創刊するなど、さまざまな文学活動に取り組みました。

左の書簡は、鷗外が通泰に宛てたもので、鷗外が詠んだ歌を見てほしいと依頼しています。歌を通じては、通泰が41歳の時に、山県有朋の発案で設立された「常磐会」という歌会でもともに活動しています。

者)らを鷗外に紹介し、鷗外は彼らとともに新声社をつくりました。そして、訳詩集『於母影』^{おもかげ}や『志がらみ草紙』を創刊するなど、さまざまな文学活動に取り組みました。



井上通泰宛森鷗外書簡

第 37 回 山桃忌

今年のテーマは「妖怪」

8/6(土)・7(日)・8(月)

※詳しくは、内面
をご覧ください。



通泰の歌を調べるトライやる生

トライやる・ウィークを終えて
6月、福岡東中学校から
2名のトライやる・ウィー
ク生を受け入れました。
主に、井上通泰のゆかり
の地めぐりや資料撮影な
ど、記念展と関連した作業
に取り組み、学芸員の仕事
を体験しました。

記念展では、彼らが作成
した通泰を紹介するパネ
ルを展示します。ぜひご覧
ください！

トライやる・ウィークを終えて

館日記

